



難民等に対する日本語教師初任研修

難民の背景をもつ日本語学習者を多視点から理解し、対人援助としての日本語教育という姿勢をもった人材を育成することを目的とした研修です。

アフガニスタン、ウクライナ、ミャンマー等から日本に逃れ、地域で暮らす難民の背景をもつ方々が急増しています。この状況下、何かしらお役に立てないかとお考えの日本語教師の方も大勢いらっしゃると思います。ご関心のある方は、ぜひお申し込みください。

■対象 難民等への日本語教育を学びたい日本語教師
全講座参加可能な方

■実施期間 第1期 7月19日(日)から11月8日(日)
※11月29日(日)に研修まとめの回実施

第2期 10月11日(日)から2月7日(日)
※2月28日(日)に研修まとめの回実施

全60単位相当(45分×60コマ)の講座です。

研修は原則、日曜日に行われますが、内容等により他の曜日に実施の場合もあります。
詳しくは、講義内容と日程をご確認ください。

■実施方法 オンライン(「演習特2 難民当事者との対話」のみ原則対面)

■受講料 15,000円

■申込方法 ①以下のURLまたはQRコードよりお申し込み下さい。

<https://forms.gle/HkvVC84i1b2F9pri8>



②お申し込みから1週間以内をめぐに受講料のお振込みをお願いします。
お振込み方法については、お申し込みのあった方から順にお知らせします。

■申込〆切 第1期 2026年7月18日(土)、第2期 先着順にて受付

講師

石川美給子(社会福祉法人 日本国際社会事業団)
鶴川晃(大正大学地域創生学部公共政策学科)
大室文(名古屋大学日本法教育研究センターカンボジア)
小川珠子(首都圏中国帰国者支援・交流センター)
葛西伶(国連難民高等弁務官事務所(UNHCR) 駐日事務所)
鈴木昌広(公益財団法人 アジア福祉教育財団 難民事業本部)
田中美穂子(社会福祉法人 さぽうとにじゅういち)
鶴木由美子(認定 NPO 法人 難民支援協会(JAR))

伴野崇生(慶應義塾大学総合政策学部)
野山広(国立国語研究所 研究系)
人見泰弘(武蔵大学社会学部)
檜山怜美(特定非営利活動法人 なんみんフォーラム(FRJ))
宮下しのぶ(公益財団法人 国際日本語普及協会(AJALT))
矢崎理恵(社会福祉法人 さぽうとにじゅういち)
和田貴子(一般社団法人 HORIZOPIC)
他

主催・問い合わせ先

社会福祉法人さぽうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル 6階

TEL: 03-5449-1331

Web: <https://support21.or.jp/>



第1期

回数	日程	① 9:10-10:40	② 10:50-12:20 *終了12:30
1	7/19	研修ガイダンス	
2	7/26	【Aゼロ】「難民等」概論	【Cゼロ】「難民等に対する日本語教育概論
3	8/2	【A2】日本の難民等受入れの経緯と基本的な受入れ方針・体制等	【C1】難民等に対する日本語教育（公的な支援を中心に）
4	8/9	【A1】世界における難民等の現状	【C2】難民等に対する日本語教育（公的な支援以外を中心に）
5	8/16	【演習ゼロ】難民等に対する日本語教育に必要な知識・技能・態度を身に付けていくには	【C3】中国帰国者に対する日本語教育
6	8/23	中間振り返り①	【A3】日本における難民等の現状①ー多様なアクターの取り組みからー
7	8/30	【B1】日本における難民等の現状②ー民間支援の現場からー	【演習1】積極的傾聴
8	9/6	【演習特1】さばうと21学習支援室他 日本語教育の実践の現場を見学（振り返り）	【B4】難民等への理解を深める一言語学習者としての側面からー
9	9/13	【B2】日本における難民等の現状③ー難民当事者のお話をきくー	
10	9/20	【B5】難民等への理解を深めるー臨床心理学の視点からー	中間振り返り②
11	9/27	【演習特2】難民当事者との対話<本番>（対面） ※日程が前後する場合、また当日午後の可能性もあります	
12	10/4	【B3】難民等の異文化受容・適応（ケースメソッド）	【演習2】異文化調整能力・課題の共有・評価とフィードバック
13	10/11		【演習3】難民等に対する日本語教育及び難民支援の視点や実践知から学ぶ
14	10/18	【D1】難民等の社会参加	
15	10/25	【演習特2】難民当事者との対話<振り返り>	
16	11/1	【D2】難民等のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語教育(1)	【D2】難民等のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語教育(2)
17	11/8		【演習4】私にとって「難民等に対する日本語教育とは」／教師として学び、成長し続けるために
18	11/29	研修のまとめ	

第2期

回数	日程	① 9:10-10:40	② 10:50-12:20 *終了12:30
1	10/11	研修ガイダンス	
2	10/18	【Aゼロ】「難民等」概論	【Cゼロ】「難民等に対する日本語教育」概論
3	10/25	【A2】日本の難民等受入れの経緯と基本的な受入れ方針・体制等	【C1】難民等に対する日本語教育（公的な支援を中心に）
4	11/1	【A1】世界における難民等の現状	【C2】難民等に対する日本語教育（公的な支援以外を中心に）
5	11/8	【演習ゼロ】難民等に対する日本語教育に必要な知識・技能・態度を身に付けていくには	【C3】中国帰国者に対する日本語教育
6	11/15	中間振り返り①	【A3】日本における難民等の現状①ー多様なアクターの取り組みからー
7	11/22	【B1】日本における難民等の現状②ー民間支援の現場からー	【演習1】積極的傾聴
8	11/29	【演習特1】さばうと21学習支援室他 日本語教育の実践の現場を見学（振り返り）	【B5】難民等への理解を深めるー臨床心理学の視点からー
9	12/6	【B4】難民等への理解を深める一言語学習者としての側面からー	
10	12/13	【B2】日本における難民等の現状③ー難民当事者のお話をきくー	中間振り返り②
11	12/20	【演習特2】難民当事者との対話<本番>（対面） ※日程が前後する場合、また当日午後の可能性もあります	
12	1/10	【D1】難民等の社会参加	
13	1/17	【B3】難民等の異文化受容・適応（ケースメソッド）	【演習2】異文化調整能力・課題の共有・評価とフィードバック
14	1/24	【演習3】難民等に対する日本語教育及び難民支援の視点や実践知から学ぶ	
15	1/31	【演習特2】難民当事者との対話<振り返り>	【D2】難民等のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語教育(1)
16	2/7	【D2】難民等のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語教育(2)	【演習4】私にとって「難民等に対する日本語教育とは」／教師として学び、成長し続けるために
17	2/28	研修のまとめ	